

きもの いま 着物の今

ことし いちがつ にち せいじん ひ
今年の1月13日は成人の日でした。

せいじん ひ さい わかもの おとな しゃかい なかまい じかく
成人の日とは20歳になった若者が大人の社会へ仲間入りすることを自覚する
ぎしき せいじんしき おこな こくみん しゅくじつ まいとしいちがつ だいにげつようび
儀式（成人式）を行う国民の祝日で、毎年1月の第2月曜日となっていま
す。

そして、この日は一年の中で最も振袖に身を包んだ成人女性をたくさん見
かける日でもあります。振袖とは未婚の女性が着用する格式の高い正装用
の着物で、袖が長いので「振（振れる）袖」と呼ばれています。

なぜ、袖が長いのか・・・一説には長い袖を振って男性を惹きつけるためとも
いわれているので、既婚女性が振袖を着るのは非常識だとされています。で
も、私 は独身、既婚など関係なく、振袖をいつまでも着れる女性の方がと
ても魅力的だと思えます。

しかし、生活の欧米化により、普段着として着物を着る人は少数派となって
しまいました。世界に誇るべき民族衣装である着物を着る風習が衰退
していくのはとても悲しいことです。

だから私 は休日、出かける予定がなくても着物を着て過ごします。
着物は職人の思いが込められた工芸品で、日本人としてのアイデンティティ
など大切なことを教えてくれます。

みなさんは着物を着てみたいですか。